

令和元年度

医療倫理学分野・健康増進科学分野 年報

(2019.4 ~ 2020.3)

2020年3月

東京大学大学院医学系研究科 公共健康医学専攻  
医療倫理学分野・健康増進科学分野



# 目 次

1. 研究業績	1
(1) 原著	
(2) 総説・一般	
(3) 著書	
(4) 報告書	
(5) 学会・研究会等	
2. 研究活動	9
(1) 研究会	
I. 教室全体の研究会	
II. ランチョンセミナー	
III. ジャーナルクラブ	
(2) 研究プロジェクト	
(3) 海外研究者講演・セミナー	
3. 教育活動	20
(1) 学部講義	
(2) 学部実習・演習	
(3) 大学院講義	
(4) 卒業論文	
(5) 課題研究	
(6) 博士論文	
(7) 他大学等の講義	
(8) 講演等	
4. 海外出張	31
5. 学会における活動	32
6. 社会的活動	33

教室員名簿



---

## 1. 研究業績

---

### (1) 原著

Akabayashi A, Nakazawa E, Akabayashi A. 2019. Implementation of Japan's first clinical research regulatory law: background, overview, and challenges. *HEC Forum* 2019;31(4):283–294. doi:10.1007/s10730-019-09379-3

Akabayashi A, Nakazawa E, Ino H. Incidence of thyroid cancer among children and young adults in Fukushima, Japan. *JAMA Otolaryngol Head Neck Surg.* 2019;145(8):769–770. doi:10.1001/jamaoto.2019.1105

Akabayashi A, Nakazawa E, Jecker NS. What are considered ‘good facts’? *J Med Ethics.* 2019;45(7):473–475.

Akabayashi A, Nakazawa E, Jecker NS. Adhering to ethical benchmarks in neurology clinical trials using iPSCs. *Neurotherapeutics.* 2019. doi:10.1007/s13311-019-00728-1

Ino H, Nakazawa E, Akabayashi A. Health and welfare in Japan. *Lancet.* 2019 Nov 2-8;394(10209):1614–1615. doi:10.1016/S0140-6736(19)31805-7

Jecker NS, Miwa E. What do we owe the newly dead? An ethical analysis of findings from Japan's corpse hotels workers. *Bioethics.* 2019;33(6):691–698. doi:10.1111/bioe.12578

Nakada H, Inoue Y, Yamamoto K, Matsui K, Ikka T, Tashiro S. Public attitudes toward the secondary uses of patient records for pharmaceutical companies' activities in Japan. *Therapeutic Innovation & Regulatory Science.* 2019 October;1–8.

Nakazawa E, Yamamoto K, Akabayashi A, Shaw MH, Demme RA, Akabayashi A. Will you give my kidney back? Organ restitution in living related kidney transplantation: Ethical analyses. *J Med Ethics.* 2020;46:144–150. doi:10.1136/medethics-2019-105507

Nakazawa E, Yamamoto K, Ozeki-Hayashi R, Akabayashi A. A global dialogue on withholding and withdrawal of medical care: An East Asian perspective. *Am J Bioeth.* 2019;19(3):50–52. doi:10.1080/15265161.2018.1563650

Nakazawa E, Yamamoto K, Ozeki-Hayashi R, Akabayashi A. Why can't Japanese people decide? Withdrawal of ventilatory support in end-of-life scenarios and their indecisiveness. *Asian Bioeth Rev.* 2019;11:343–347. doi:10.1007/s41649-019-00107-0

Ozeki-Hayashi R, Fujita M, Tsuchiya A, Hatta T, Nakazawa E, Takimoto Y, Akabayashi A. Beliefs held by breast surgeons that impact the treatment decision process for advanced breast cancer patients: a qualitative study. *Breast Cancer (Dove Med Press).* 2019 Jul 17;11:221–229. doi:10.2147/BCTT.S208910. PMID:31410054; PMCID:PMC6645069.

Sadato N, Morita K, Kasai K, Fukushi T, Nakamura K, Nakazawa E, Okano H, Okabe S. Neuroethical issues of the Brain/MINDS project of Japan. *Neuron.* 2019 Feb 6;101:385–389. doi:10.1016/j.neuron.2019.01.006

林令奈, 玉手慎太郎. 米国 Right to Try 法案について:歴史・制度・課題. *CBEL Report.* 2019, 1(2), p.1-8.

三羽恵梨子. 訳者コメンタリー: 徳倫理学をいかにヘルスケア政策に用いるか: J・オークリーの「事例研究」. *CBEL Report.* 2019, 1(2), p.21-23. (ジャスティン・オークリー. 徳倫理学と公共政策: ひとつの事例研究としての治療的關係における医療実践上の徳の擁護. 三羽恵梨子訳. *CBEL Report.* 2019, 1(2), p.9-20.)

## (2) 総説・一般

高島響子, 浦出美緒, 中田亜希子, 中澤栄輔, 伊吹友秀. 日本生命倫理学会と生命倫理学の 30 年. 生命倫理. 2019, 29(1), p.4-36.

瀧本禎之. 特集「呼吸療法における終末期医療の問題点」呼吸療法における終末期医療の臨床倫理的課題. 人工呼吸. 2019, 36(2), p.140-143.

瀧本禎之. 日常診療における医療倫理と臨床倫理. 皮膚病診療. 2019, 41(4), p.298-302.

瀧本禎之. 特集「医療現場での怒り-どのように評価しどのように対応するべきか」トラブルマネジメントからみる医療安全と怒り. 精神医学. 2019, 61(11), p.1335-1341.

玉手慎太郎. 特集=倫理学の論点 23 : 公衆衛生・ヘルスプロモーション・ナッジ: 健康のユートピアへの道. 現代思想. 2019, 47(12), p.161-168.

筒井晴香. 特集=倫理学の論点 23 : トランス排除をめぐる論争のむずかしさ. 現代思想. 2019, 47(12), p.169-175.

筒井晴香. 総特集=日本の男性アイドル: 「推す」という隘路とその倫理—愛について. ユリイカ. 2019, 51(18), p.174-187.

筒井 晴香. 書評: 小山虎編著『信頼を考える——リヴァイアサンから人工知能まで』(勁草書房、2018 年刊). 科学哲学. 2020, 52(2), p.87-90.

### (3) 著書

政治において正しいとはどういうことか：ポスト基礎付け主義と規範の行方

田畑真一（編著），玉手慎太郎（編著），山本圭（編著）

勁草書房, 2019 年

功利主義をのりこえて：経済学と哲学の倫理

アマルティア・セン（編著），バーナード・ウィリアムズ（編著），後藤玲子（監訳）

ミネルヴァ書房, 2019 年

分担翻訳：玉手慎太郎. 第 11 章「酸っぱい葡萄：功利主義と、欲求の源泉」

小児の医療倫理ケーススタディ

ダグラス S. ディーケマ，マーク R. マーキュリオ，メアリー B. アダム（編），岡明（監訳）

メディカルサイエンスインターナショナル, 2020 年

分担翻訳：新井奈々. 1, 2, 3, 8, 24, 40, 41 章



#### (4) 報告書

『医療における AI 関連技術の利活用に伴う倫理的・法的・社会的課題の研究 平成 30 年度 総括・分担研究報告書』

「医療 AI の倫理」をテーマとしたディスカッション事例の作りの試み, 医療 AI の議論のための架空事例, 資料 8～11 (山本 圭一郎)

井上 悠輔, 一家 綱邦, 井元 清哉, 佐藤 雄一郎, 菅原 典夫.

研究協力者: 坂本 純子, 松川 紀代, 山口 育子, 船橋 亜希子, 武藤 香織, 山本 圭一郎.

厚生労働省科学研究費補助金 医療における AI 関連技術の利活用に伴う倫理的・法的・社会的課題の研究 (研究代表者: 井上 悠輔) 2019 年 5 月

(5) 学会・研究会等

- The Asian Pacific Bioethics Education Network Second Meeting (APBEN 2019). 29-30 March 2019. Hong Kong, China.
  - ・ Pallarel Session B: Perspectives on Ethics Education from Four Countries.  
Nakazawa E. (Invited Panelist)
  
- 第 30 回日本医学総会（愛知県名古屋市）2019 年 4 月 27～29 日
  - ・ 臨床倫理コンサルテーション  
瀧本 禎之.
  
- 第 78 回日本哲学会大会（東京都八王子市）2019 年 5 月 17～19 日
  - ・ アリストテレスの『政治学』とポピュリズム  
玉手 慎太郎.
  
- International Workshop: Ethics of Biomedical Technology and Artificial Intelligence. 31 May - 1 June 2019. Hong Kong, China.
  - ・ Wearable devices and transformations to human death brought about by AI.  
Nakazawa E.
  
- 2019 International Conference on Medical Professionalism and Humanities: Educating Humanistic Healthcare Professionals in the High Technology Era. 21-22 June 2019. Kaohsiung, Taiwan.
  - ・ Pre Conference Forum/Workshop: Education of bioethics and professionalism in Japan.  
Nakazawa E.
  - ・ Morning Session: Virtue of Health Care Professionals in High-tech Era and East Asian Tradition: Withholding and withdrawal in Japan. (Keynote speech)  
Nakazawa E.
  - ・ Afternoon Session - Pallarel Forum/Workshop: Bioethics in The High-tech Society: Wearable devices and transformations to human death brought about by AI.  
Nakazawa E.

○ XXXVIth International Congress on Law and Mental Health. 21-26 July, 2019. Rome, Italy.

・ Creating a Good Death: Lessons from Japan.

Jecker NS, Miwa E.

○ NEURO2019（第 42 回日本神経科学大会、第 62 回日本神経化学会大会）（新潟県新潟市）  
2019 年 7 月 25～28 日

・ ニューロテクノロジーと自律・幸福・徳（産学連携シンポジウム「ニューロテクノロジーを社会へ実装するための ELSI」）

中澤 栄輔.

○ 第 33 回日本手術看護学会年次大会（岡山県岡山市）2019 年 10 月 11～12 日

・ 研究倫理研修:倫理性と科学性を担保する研究計画書の書き方 第 2 部 委員の立場から倫理性と科学性をチェックするポイント

蒔田 覚, 佐藤 弘之, 酒井 美絵子, 菊地 京子, 蒲原 一夫.

○ 2019 International Neuroethics Society Annual Meeting. 17-18 October 2019. Chicago, US.

・ Should we erase our unpleasant memories? - Ethics of memory manipulation by neurofeedback technologies.

Nakazawa E, Yamamoto K, Tachibana K.

○ 科学技術社会論学会第 18 回年次大会（石川県野々市市）2019 年 11 月 9～10 日

・ 先端脳科学研究に関する社会的合意形成のための市民対話ワークショッププログラムの開発

筒井 晴香.

○ 第 60 回日本児童青年精神医学会総会（沖縄県宜野湾市）2019 年 12 月 5～7 日

- ・ 臨床研究の倫理（倫理委員会セミナー「研究倫理とは何か?」）  
中澤 栄輔.

○ 第 31 回日本生命倫理学会年次大会（宮城県仙台市）2019 年 12 月 7～8 日

- ・ 患者相談・臨床倫理センター（C-PRACE）における倫理コンサルテーションの実践（公募シンポジウム IV「倫理コンサルテーションの再検討 — 臨床倫理学と臨床倫理の実践 —」）  
瀧本 禎之.
- ・ 公募ワークショップ VII「ゲノム編集技術の臨床応用について語る — ゲノム編集研究の最前線と倫理的課題 —」  
山本 圭一郎, 伊吹 友秀, 阿久津 英憲.

---

## 2. 研究活動

---

### (1) 研究会

#### I. 教室全体の研究会 (13:30 ~ 14:30)

4月24日(水)	長谷川 友宏 (医学科 M4)	エレクラ成果報告：薬物依存症患者への心臓移植適応除外の妥当性について
	藤原 実咲 (医学科 M4)	エレクラ成果報告：医学生とピアサポーターの関りから考える病の語りの多様性
5月29日(水)	飽津 貴史 (医学科 M4)	エレクラ成果報告：メルナス・ディジャーの事件から見る、小児がん患児家族の対応
	田中 顕弥 (医学科 M4)	エレクラ成果報告：患者に対する干渉のあるべき姿について
6月19日(水)	今長谷 尚史	博士論文進捗報告：PICS-F 予防バンドル Systematic review
6月26日(水)	濱田 なみ子	博士論文進捗報告：道徳的ジストレスと倫理的環境
	森下 直貴 (浜松医科大学)	セミナー：QOL スケールを哲学する
7月17日(水)	三羽 恵梨子	博士論文進捗報告：研究不正概念の多義性の分類とその構造化：日本における一般化可能性の検討
8月 7日(水)	新井 奈々	博士論文進捗報告：生体腎移植ドナーの腎提供の意思に対する医療従事者の姿勢と課題
9月18日(水)	今長谷 尚史	博士論文進捗報告：PICS-F 予防 研究計画について
11月 6日(水)	今長谷 尚史	博士論文進捗報告：PICS・PICS-F 単施設観察研究計画について
12月 4日(水)	奈須野 文槻	卒業論文進捗報告：日本における医療情報の二次利用をめぐる規制とその課題
12月18日(水)	今長谷 尚史	博士論文進捗報告
1月 8日(水)	奈須野 文槻	卒業論文進捗報告：「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」におけるオプトアウト要件の考察
1月 8日(水)	今長谷 尚史	博士論文進捗報告

1月22日(水)	奈須野 文槻	卒業論文発表予行「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」におけるオプトアウト要件の考察
1月29日(水)	奈須野 文槻	卒業論文発表予行
	林 航平 (医学科 M1)	フリークオータ成果報告：「セルフメディケーション」の厚生労働省による定義に関して
	森 有哉 (医学科 M1)	フリークオータ成果報告：他者の他者性と時間性～メルロ＝ポンティ「知覚の現象学」の読解を通じてその隔たりを考える
2月19日(水)	新井 奈々	博士論文進捗報告：生体腎移植ドナーに対する心理社会的・倫理的な配慮の観点において、医療従事者がどういった意識で日々の臨床業務に携わっているのか
2月26日(水)	東 広大 (医学科 M1)	フリークオータ成果報告
	奥野 周平 (医学科 M1)	フリークオータ成果報告

※ 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の拡大に伴い3月の教室研究会は中止とした。

## II. ランチョンセミナー (12:30~13:30)

4月9日(火)	玉手 慎太郎	公衆衛生倫理関連文献解題
4月16日(火)	生命倫理関連 TV 番組視聴・討論	NHK 欲望の時代の哲学 マルクス・ガブリエル日本を 行く (前半)
4月23日(火)	生命倫理関連 TV 番組視聴・討論	NHK 欲望の時代の哲学 マルクス・ガブリエル日本を 行く (後半)
5月14日(火)	生命倫理関連 TV 番組視聴・討論	BS 世界のドキュメンタリー 私の脳を治せますか? (前半)
5月21日(火)	生命倫理関連 TV 番組視聴・討論	BS 世界のドキュメンタリー 私の脳を治せますか? (後半)
6月11日(火)	三羽 恵梨子	臨床倫理学会主催『福生病院事案のクイックレスポンス パネルディスカッション』報告
6月18日(火)	林 令奈	新生児医療の倫理的問題に関する事例検討

7月 1日 (月)	生命倫理関連 TV 番組視聴・討論	映画『ハンナ・アーレント』 解説：玉手慎太郎 (1)
7月 8日 (月)	生命倫理関連 TV 番組視聴・討論	映画『ハンナ・アーレント』 解説：玉手慎太郎 (2)
7月 22日 (月)	生命倫理関連 TV 番組視聴・討論	映画『ハンナ・アーレント』 解説：玉手慎太郎 (3)
7月 29日 (月)	玉手 慎太郎	雑誌依頼記事草稿報告
8月 5日 (月)	玉手 慎太郎	論文紹介：インフォームド・コンセントへのナッジ利用 について
8月 26日 (月)	生命倫理関連 TV 番組視聴・討論	映画『ビューティフル・マインド』 解説：玉手慎太郎 (1)
9月 2日 (月)	生命倫理関連 TV 番組視聴・討論	映画『ビューティフル・マインド』 解説：玉手慎太郎 (2)
9月 11日 (水)	筒井 晴香	「LGBT の患者対応についての看護部長アンケート」結 果概要報告
9月 11日 (水)	生命倫理関連 TV 番組視聴・討論	映画『ビューティフル・マインド』 解説：玉手慎太郎 (3)
9月 30日 (月)	三羽 恵梨子	イタリア学会報告
10月 7日 (月)	奈須野 文槻	アメリカ学会報告
10月 28日 (月)	生命倫理関連 TV 番組視聴・討論	映画『アイリス』 解説：玉手慎太郎 (1)
11月 11日 (月)	生命倫理関連 TV 番組視聴・討論	映画『アイリス』 解説：玉手慎太郎 (2)
11月 18日 (月)	佐藤 弘之	イギリス留学報告
11月 25日 (月)	玉手 慎太郎	公衆衛生倫理関連文献解題
12月 2日 (月)	玉手 慎太郎	公衆衛生倫理関連文献解題
12月 9日 (月)	玉手 慎太郎	公衆衛生倫理関連文献解題
12月 16日 (月)	林 令奈	ASBH(American Society for Bioethics and Humanities)参加報告
1月 20日 (月)	玉手 慎太郎	公衆衛生倫理・論文草稿報告

1月27日(月)	玉手 慎太郎	公衆衛生倫理関連文献解題
2月3日(月)	玉手 慎太郎	公衆衛生倫理関連文献解題
2月10日(月)	玉手 慎太郎	公衆衛生倫理関連文献解題
2月12日(水)	玉手 慎太郎	公衆衛生倫理関連文献解題
2月17日(月)	吉永 雄弘	CBEL Report 論文草稿報告
3月2日(月)	玉手 慎太郎	公衆衛生倫理関連文献解題
3月9日(月)	玉手 慎太郎	公衆衛生倫理関連文献解題
3月16日(月)	玉手 慎太郎	公衆衛生倫理関連文献解題
3月23日(月)	玉手 慎太郎	公衆衛生倫理関連文献解題

### Ⅲ. ジャーナラルクラブ (12:30 ~ 13:15)

4月3日(水)	新井 奈々	Wong SPY, McFarland LV, Liu CF, Laundry RJ, Hebert PL, O'Hare AM. Care practices for patients with advanced kidney disease who forgo maintenance dialysis. <i>JAMA Intern Med.</i> 2019;179(3):305-313. doi:10.1001/jamainternmed.2018.6197
4月10日(水)	筒井 晴香	Cloyes KG, Hull W, Davis A. Palliative and End-of-Life Care for Lesbian, Gay, Bisexual, and Transgender (LGBT) Cancer Patients and Their Caregivers. <i>Semin Oncol Nurs.</i> 2018 Feb;34(1):60-71. doi:10.1016/j.soncn.2017.12.003
4月24日(水)	今長谷 尚史	Scheunemann LP, Ernecoff NC, Buddadhumaruk P. Clinician-family communication about patient's values and preferences in intensive care units. <i>JAMA Intern Med.</i> 2019 Apr 1. doi:10.1001/jamainternmed.2019.0027
5月15日(水)	吉永 雄弘	Sharadin NP. Patient preference predictors and the problem of naked statistical evidence. <i>J Med Eth.</i> 2018;44(12):857-862.
5月22日(水)	三羽 恵梨子	Resnik DB. Is it time to revise the definition of research misconduct? <i>Account Res.</i> 2019;26(2):123-137.



- 5月29日(水) 森 克美  
Isa NM, Zulkifli NA, Man S. Islamic perspectives on CRISPR/Cas9-mediated human germline gene editing: A preliminary discussion. *Sci Eng Ethics*. 2019 Mar. doi:10.1007/s11948-019-00098-z
- 6月 5日(水) 玉手 慎太郎  
Avitzour D, Barnea R, Avitzour E, Cohen H, Ittay NR. Nudging in the clinic: the ethical implications of differences in doctors' and patients' point of view. *J Med Eth*. 2019;45(3):183-189.
- 6月19日(水) 林 令奈  
Longo DL. Ethical problems in decision making in the Neonatal ICU. *N Engl J Med*. 2018 Nov 19.
- 7月10日(水) 玉手 慎太郎  
Sullivan LS, Nikler F. Relational autonomy, paternalism, and Maternalism. *Ethical Theory Moral Pract*. 2018;21(3):649-667.
- 7月24日(水) 今長谷 尚史  
Baron RJ, Berinsky AJ. Mistrust in science - a threat to the patient-physician relationship. *N Engl J Med*. 2019;381:182-185.
- 7月31日(水) 吉永 雄弘  
Sharadin N. Should aggregate patient preference data be used to make decisions on behalf of unrepresented patients. *AMA J Ethics*. 2019;21(7):E566-574.
- 8月21日(水) 森 克美  
Cyranoski D. What's next for CRISPR babies? Here are the four most pressing questions. *Nature*. 2019;566:440-442.  
Wei X, Nielsen R. CCR5-Δ32 is deleterious in the homozygous state in humans. *Nat Med*. 2019;25:909-910.  
Cohen J. Russian geneticist answers challenges to his plan to make geneedited babies. *Science News*. Jun. 13, 2019
- 8月28日(水) 新井 奈々  
Byju AS, Mayo K. Medical error in the care of the unrepresented: disclosure and apology for a vulnerable patient population. *J Med Eth*. 2019. doi:10.1136/medethics-2019-105633
- 9月 4日(水) 三羽 恵梨子  
Vogelstein E. The nature and value of bioethics expertise. *Bioethics*. 2015. 29(5):324-333.

- 9月18日(水) 筒井 晴香      Richie CS. Not sick: liberal, trans and crip feminist critiques of medicalization. *J Bioeth Inq.* 29 Jun 2019. doi:10.1007/s11673-019-09922-4
- 9月25日(水) 林 令奈      Twycross R. Refreflections on palliative sedation. *Palliat Care.* 2019;12. doi:10.1177/1178224218823511
- 10月16日(水) 玉手 慎太郎      Nicker F, Sullivan LS. Trusting relationships and the ethics of interpersonal action. *Int J Philos Stud.* 2018; 26(2):173-186.
- 11月 6日(水) 森 克美      Regenberg A. Science and Social Media. *Stem Cells Transl Med.* 7 Jul 2019. doi:10.1002/sctm.19-0066
- 11月13日(水) 新井 奈々      Lin, Y., Chen, C., Lee, W. et al. Educational video-assisted versus conventional informed consent for trauma-related debridement surgery: a parallel group randomized controlled trial. *BMC Med Ethics.* 2018;19 doi:10.1186/s12910-018-0264-7
- 11月20日(水) 吉永 雄弘      London AJ, Kimmelman J. Clinical trial portfolios: a critical oversight in human research ethics, drug regulation, and policy. *Hastings Center Report.* 2019; 49(4):31-41. doi:10.1002/hast.1034
- 11月27日(水) 奈須野 文槻      Ballantyne A. Adjusting the focus: a public health ethics approach to data research. *Bioethics.* 2019; 33:357-366. doi:10.1111/bioe.12551
- 12月18日(水) 今長谷 尚史      Biddison LD, Berkowitz KA, Courtney B, De Jong CMJ, Devereaux AV, Kissoon N, Roxland BE, Sprung CL, Dichter JR, Christian MD, Powell T. Ethical considerations: Care of the critically ill and injured during pandemics and disasters: CHEST Consensus Statement. *Chest* 2014; 146(S4):e145s-e155s. doi:10.1378/chest.14-0742
- 1月15日(水) 筒井 晴香      Wilson Y, White A, Jefferson A, Danis M. Intersectionality in Clinical Medicine: The Need for a Conceptual Framework. *Am J Bioeth.* 2019; 19(2):8-19. doi:10.1080/15265161.2018.1557275

- 1月22日(水) 林 令奈 Gómez-Virseda C, de Maeseneer Y, Gastmans C. Relational autonomy: what does it mean and how is it used in end-of-life care? A systematic review of argument-based ethics literature. *BMC Med Ethics* 2019; 20, 76. doi:10.1186/s12910-019-0417-3
- 1月29日(水) 玉手 慎太郎 Mills C. The choice architect's trilemma. *Res Publica*. 2018;24:395-414.
- 2月5日(水) 森 克美 MacKeller C. Genome modifying reproductive procedures and their effects on numerical identity. *New Bioeth*. 2019; 25(2):121-136.
- 2月19日(水) 奈須野 文槻 Batt S, Butler J, Shannon O, Fugh-Berman A. Pharmaceutical Ethics and Grassroots Activism in the United States: A Social History Perspective. *J Bioeth Inq*. 2020. doi:10.1007/s11673-019-09956-8
- 2月26日(水) 新井 奈々 Gatter R. Quarantine Controversy: Kaci Hickox v. Governor Chris Christie. *Hastings Center Report*. 2016; 46(3): 7-8.

※ 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の拡大に伴い3月のジャーナルクラブは中止とした。

## (2) 研究プロジェクト(助成分)

日本医療研究開発機構・脳科学研究戦略推進プログラム『脳科学研究の倫理的・法的・社会的課題の解決に関する研究』

研究開発代表者：瀧本 禎之.

研究開発分担者：三浦 竜一, 上竹 勇三郎, 赤林 朗, 山本 圭一郎, 林 令奈, 島内 明文, 玉手 慎太郎, 宇田川 誠, 筒井 晴香.

日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)『臨床倫理コンサルテーション普及のための課題解決の確立』

研究代表者：瀧本 禎之.

日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)『ニューロフィードバックの倫理 — 医工連携の研究倫理と社会的受容性』

研究代表者：中澤 栄輔.

研究分担者：瀧本 禎之, 山本 圭一郎, 立花 幸司.

日本学術振興会 科学研究費助成事業 若手研究『なぜ効果が見込めない化学療法を医師は続けるのか?』

林 令奈.

平成 30 年度 上廣倫理財団研究助成金『日本人の遺体観に関する倫理的検討』

三羽 恵梨子, 赤林 朗, Nancy S. Jecker.

平成 27 年度・平成 28 年度 上廣倫理財団研究助成金『自閉スペクトラム症 (ASD) の小児本人への告知に対する児童精神科医と小児科医の態度に関する研究』

佐藤 弘之, 赤林 朗, 瀧本 禎之, 中澤 栄輔, 藤田 みさお, 土屋 敦, 八田 太一.

日本医療研究開発機構 再生医療の実現化ハイウェイ 課題 D『再生医療研究における倫理的課題の解決に関する研究』

研究代表者： 武藤 香織.

研究分担者： 長村 文孝, 山本 圭一郎.

研究参加者： 神里 彩子, 井上 悠輔, 高嶋 佳代, 楠瀬 まゆみ, 吉田 修馬, 木矢 幸孝,  
内山 正登, 岡田 美和子, 山西 たか子, 神野 浄子, 藤澤 空見子,  
西村 奈津子, 竹内 君枝, 横山 眞佐子, 佐藤 弘之, 新井 奈々,  
奈良本 明日香.

日本学術振興会 科学研究費助成事業 挑戦的研究（萌芽）『「2. 5次元文化」における参加型文化による嗜好共同体構築に関する研究』

研究代表者： 須川 亜紀子.

研究分担者： 清水 知子, 田中 東子, 岩下 朋世, 川村 覚文, 筒井 晴香.

研究協力者： 藤原 麻優子.

科学技術振興機構 戦略的創造研究推進事業 社会技術研究開発（RISTEX）「人と情報のエコシステム」研究開発領域『人と情報テクノロジーの共生のための人工知能の哲学 2.0 の構築』

研究代表者： 鈴木 貴之.

研究分担者： 中澤 栄輔.

科学技術振興機構 戦略的創造研究推進事業 社会技術研究開発 (RISTEX) 「人と情報のエコシステム」研究開発領域『「内省と対話によって変容し続ける自己」に関するヘルスケアからの提案』

研究代表者：尾藤 誠司.

総括研究グループ研究開発実施者：尾藤 誠司，松村 真二，佐久間 結子，林 八千恵.

研究開発の協力者：京極 真，丹野 清美，岡崎 研太郎，北村 大，齋籙 清二，山崎 祥光，柴田 健一，塚原 美穂子，飯岡 緒美，佐藤 由紀，山田 康博，本田 美和子，中山 俊，堀江 剛，菊池 真実，小林 美亜，樋山 光教，林 真理子，岡野内 徳弥，千葉 ちよ，水野 有紀，田中 雅之，山森 有夏，道上 咲季，今村 弥生，中岡 成文，西依 康，桐山 伸也，小俣 敦士，林 令奈，浮ヶ谷 幸代，松繁 卓哉.

国立がん研究センター研究開発費『がん医療における臨床倫理委員会の機能と役割に関する研究 (31-A-19) 』

研究代表者：一家 綱邦.

研究分担者：里見 絵理子，田代 志門，浦久保 亜輝子，宮田 佳代子，八尋 佐知子，島田 和明，遠矢 和希，中田 亜希子，清水 千佳子，中田 はる佳，吉田 千春，瀧本 禎之.

(3) 海外研究者講演・セミナー

Greg Bognar (Associate Professor, Stockholm University)

"Intergenerational cooperation and justice between age groups."

4月17日(水) 医学部3号館S408室

Ning Wang (Graduate Student, University of Zurich)

"Value sensitive humanitarian innovation – Integrating ethical values in the humanitarian use of drones."

6月12日(水) 医学部3号館S408室

Zohar Lederman (Postdoc Fellow, Hong Kong University)

"When life becomes too hard - Aid in Dying at the ED as continuum of care."

10月9日(水) 医学部3号館S408室

Dean M. Harris (Associate Professor, The University of North Carolina at Chapel Hill)

"Update about health reform in the United States."

12月19日(木) 医学部3号館S408室

---

### 3. 教育活動

---

#### (1) 学部講義

##### ○ 生命・医療倫理 I (健康総合科学科 2 年)

赤林 朗, 瀧本 禎之, 中澤 栄輔, 山本 圭一郎

本講義では、保健・医療の分野においてしばしば生じる意思決定が困難な問題を、主に倫理的側面から検討する。授業では、医療倫理学の基礎理論を講義するだけでなく、具体的なケースを用いたディスカッションも行うため、受講者の積極的な参加が望まれる。

本講義は、将来に臨床や医療政策に携わる人にとって有益であるのはもちろんだが、それ以外の人にとっても、いろいろな立場の人との議論を通じて、自分の倫理的思考を見つめ直すよい機会となる。

11月29日	倫理学の基礎 I, 研究倫理	中澤 栄輔
12月13日	倫理学の基礎 II, 臨床症例の倫理的検討法	中澤 栄輔
12月20日	生殖補助医療	中澤 栄輔
12月25日	終末期医療	中澤 栄輔
12月27日	先端医学の倫理	中澤 栄輔
1月10日	政治哲学, 公衆衛生倫理	島内 明文

##### ○ 生命・医療倫理 II (健康総合科学科 3 年)

赤林 朗, 瀧本 禎之, 中澤 栄輔, 山本 圭一郎

この授業では、主に医学研究の実施に際して生じる倫理的問題を検討する。授業では、研究倫理の基礎理論を講義するだけでなく、具体的なケースを用いたディスカッションや、資料を用いた演習も行うため、受講者の積極的な参加が望まれる。

9月30日		赤林 朗
10月7日		赤林 朗
10月21日		瀧本 禎之
10月28日		島内 明文
11月11日		林 令奈
11月13日		赤林 朗



○ 健康行動の理論と科学（健康総合科学科 4 年）

赤林 朗，瀧本 禎之，中澤 栄輔，山本 圭一郎

本講義では、健康行動の理論と科学と称し、主に肥満、タバコ、飲酒を例にとり、科学的側面および公衆衛生的側面から検討する。授業では、具体的なケースを用いたディスカッションも行う。また、論文や資料を用いた演習を実施する。

6月10日	健康行動の理論1（肥満）	中澤 栄輔，林 令奈
6月17日	健康行動の理論2（タバコ）	中澤 栄輔，林 令奈
6月24日	健康行動の理論3（飲酒）	林 令奈
7月 1日	論文紹介	中澤 栄輔，林 令奈
7月 8日	論文紹介	中澤 栄輔，林 令奈
7月22日	論文紹介	中澤 栄輔，林 令奈
7月29日	発表会	中澤 栄輔，林 令奈

○ 公衆衛生倫理（健康総合科学科 4 年）

赤林 朗，瀧本 禎之，中澤 栄輔，山本 圭一郎

本講義では、公衆衛生に関する問題を、主に倫理的側面から検討する。授業では、公衆衛生倫理の基礎理論を講義するだけでなく、具体的なケースを用いたディスカッションも行う。また、論文や資料を用いた演習を実施する。

6月 5日	公衆衛生倫理概要	中澤 栄輔
6月12日	公衆衛生倫理文献解題	中澤 栄輔，山本 圭一郎
6月19日	公衆衛生倫理文献解題	中澤 栄輔，山本 圭一郎
7月 3日	公衆衛生倫理文献解題	中澤 栄輔，山本 圭一郎
7月10日	公衆衛生倫理文献解題	中澤 栄輔，山本 圭一郎
7月17日	発表会	中澤 栄輔，山本 圭一郎

○ 臨床倫理（健康総合科学科 4 年）

赤林 朗，瀧本 禎之，中澤 栄輔，山本 圭一郎

本講義では、保健・医療の分野においてしばしば生じる意思決定が困難な問題を、主に倫理的側面から検討する。授業では、臨床倫理の基礎理論を講義するだけでなく、具体的なケースを用いたディスカッションも行う。また、論文や資料を用いた演習を実施する。

11 月 20 日	臨床倫理の基礎	瀧本 禎之
11 月 27 日	精神疾患と倫理	佐藤 弘之
12 月 4 日	地域医療と看護倫理	島内 明文
12 月 18 日	終末期医療と人生会議	林 令奈
1 月 8 日	医療資源の配分	玉手 慎太郎
1 月 15 日	臨床倫理のシステム： 倫理コンサルテーション	瀧本 禎之

○ 公共健康科学統合講義 II（健康総合科学科 3 年）

5 月 16 日	公衆衛生倫理学	筒井 晴香
----------	---------	-------

○ 健康総合科学概論（健康総合科学科 3 年）

11 月 13 日	生命・医療倫理学入門	中澤 栄輔
-----------	------------	-------

○ 医療倫理（医学科 M2）

赤林 朗，瀧本 禎之，中澤 栄輔，山本 圭一郎，林 令奈

臨床における倫理的問題、および医学研究における倫理的問題について、医療倫理の成立過程や基礎理論を踏まえた講義を行う。

6 月 24 日	第 1 回	イントロダクション
6 月 24 日	第 2 回	医療倫理の基本
6 月 26 日	第 3 回	倫理理論と倫理原則
6 月 26 日	第 4 回	研究倫理・研究公正
6 月 26 日	第 5 回	臨床倫理と IC

○ M4 臨床統合講義 (医学科 M4)

9月20日 (医療倫理学・老年病科)

瀧本 禎之

○ 社会医学講義 (医学科 M4)

9月12日

9月13日

○ Global Bioethics - Cross Cultural Bioethics in Obstetrics and Pediatrics -

(全学部共通授業科目, 学部生・大学院生対象)

高橋 しづこ (日赤医療センター)

Learning Bio-Medical ethics from ethical issues in obstetrics and pediatrics. The lecture contents are equivalent to a seminar held at Yale University in the summer of 2018. The seminar aims to deepen your understanding and insight on global bio-medical ethics.

4月8日 Embryo Disposition

4月15日 Preimplantation Genetic Diagnosis and Screening (1)

4月22日 Preimplantation Genetic Diagnosis and Screening (2)

5月13日 Prenatal Diagnosis and Genetic Counseling in Early Pregnancy

5月20日 Abortion by Minors

5月27日 Treatment of Premature Babies

6月3日 Explaining Illness to Children

○ 薬学特別講義 (薬学部)

10月4日 生命・医療倫理学

瀧本 禎之

## (2) 学部実習・演習

### ○ 初年次ゼミ（理科）（公衆衛生学分野と合同）

4月26日

5月10日

5月24日

5月31日

6月7日

6月14日

6月21日

6月28日

7月5日

7月12日

### ○ 公共健康科学演習 II（保健社会学教室と合同）

4月8日

4月15日

4月22日

5月13日

5月20日

### (3) 大学院講義

#### ○ 医療倫理学 I

4月11日	生命・医療倫理学とは 倫理学の基礎 1	赤林 朗 山本 圭一郎
4月18日	倫理学の基礎 2 医療倫理の四原則	奈良 雅俊 (慶応義塾大学文学部) 山本 圭一郎
4月25日	インフォームド・コンセント、終末期医療	前田 正一 (慶應義塾大学健康マネジメント研究科)
5月 9日	生殖補助医療 研究倫理	高橋 しづこ (日赤医療センター) 山本 圭一郎
5月16日	臨床症例の倫理的検討法	瀧本 禎之
5月23日	守秘義務 ケアの倫理	奈良 雅俊 (慶応義塾大学文学部) 堂園 俊彦 (静岡大学人文社会科学領域)
5月30日	模擬倫理委員会	宇田川 誠

#### ○ 医療倫理学 II

6月13日	公衆衛生の倫理入門	中澤 栄輔
6月20日	公衆衛生・政治哲学	島内 明文
6月27日	親子間の世代間倫理	伊吹 友秀 (東京理科大学理工学部教養)
7月 4日	ジェンダーと生命倫理 倫理コンサルテーション I	筒井 晴香 瀧本 禎之
7月11日	健康増進とナッジ 倫理コンサルテーション II	玉手 慎太郎 瀧本 禎之
7月18日	資源配分 倫理コンサルテーション III	玉手 慎太郎 瀧本 禎之
7月25日	研究者の倫理と不正 倫理コンサルテーション IV	長井 裕之 (国立国際医療研究センター) 瀧本 禎之

#### ○ 行政看護学特論 (健康科学・看護学専攻 地域看護学分野)

9月18日	公衆衛生看護における倫理	島内 明文
-------	--------------	-------

(4) 卒業論文

「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」におけるオプトアウト要件の考察  
奈須野 文槻（指導教官：赤林 朗，山本 圭一郎）

(5) 課題研究

（該当なし）

(6) 博士論文

（該当なし）

## (7) 他大学等の講義

### 瀧本 禎之

東邦大学

『倫理』

5月17日

高知大学医学部

『医療コミュニケーション学』

6月18日

### 中澤 栄輔

神田外語大学

『自然科学概論 I』

2019年度夏学期

『自然科学概論 II』

2019年度冬学期

帝京大学大学院公衆衛生学研究科

『医療倫理学』

5月8日、5月15日

東邦大学医学部医学科

『全人的医療人教育 II 「倫理」』

4月23日

### 山本 圭一郎

学習院大学

『応用倫理学』

2019年度通年

### 林 令奈

上智大学

公開講座（秋期講座）『入門編「人生のエンディングに備えるための医療・介護と法」』

12月4日、12月11日

**宇田川 誠**

日本大学櫻丘高等学校地理歴史公民科

『倫理』

2019 年度通年

『倫理演習』

2019 年度通年

**島内 明文**

慶應義塾大学経済学部

『経済人類学』

2019 年度春学期，秋学期

**玉手 慎太郎**

東洋大学経済学部

『政治経済学 A』

2019 年度春学期

『政治経済論 A／政治経済学 A』

2019 年度春学期

『政治経済学 B』

2019 年度秋学期

『政治経済論 B／政治経済学 B』

2019 年度秋学期

**筒井 晴香**

東京有明医療大学看護学部

『哲学』

2019 年度春学期

玉川大学ユニバーシティ・スタンダード科目

『ロジック』

2019 年度春学期，秋学期

東京学芸大学教育学部

『心の哲学と知識論』

2019 年度春学期

『応用倫理』

2019 年度秋学期



## (8) 講演等

### 瀧本 禎之

国立がん研究センター東病院 認定看護師教育課程 2019年7月19日

『医療安全学：医療倫理』

日本看護協会神戸研修センター 倫理カンファレンスの効果的な活用に関する研修会 2019年8月6日

『医療における倫理』

伊東市民病院 医療倫理研修 2019年9月6日

『臨床倫理コンサルテーション』

自衛隊中央病院 医療安全職員教育 2019年11月19日

『臨床倫理推論』

加古川市民病院 臨床倫理研修会 2019年12月13日、2020年1月17日

『倫理の基本的知識』

神奈川県立こども医療センター 学習会 2019年12月26日

『小児の意思決定に関わる最近の動向 ～Informed Assent の考え方と臨床における倫理的課題～』

沖縄県看護協会 医療現場における苦情対応の基本的な考え方に関する研修会 2020年1月31日

『苦情や対応困難なクレームに関する対応の基本的な考え方や対応方法』

静岡県医師会「医療倫理」専門医共通講習 2020年2月8日

『臨床倫理問題へのアプローチ』

日本医療機能評価機構 2019年度医療安全マスター養成プログラム 2020年2月9日

『予期せぬ有害事象への具体的対応』

### 中澤 栄輔

日本集中治療医学会 教育講座「集中治療と臨床倫理 — 倫理的・法的・社会的問題 (ELSI) への対応」 2019年5月18日

『医療倫理の四原則／症例検討法 (四分表)』

放射線医学総合研究所 倫理審査委員会研修 2019年6月26日

『研究倫理審査において気になる四つの事例』

### 山本 圭一郎

国立国際医療センター 臨床研究認定対象講習会 2019年4月9日

『研究倫理入門』

### 林 令奈

多摩キャンパス臨床倫理連絡会勉強会 2019年6月24日

『13トリソミーと18トリソミーへの医療的介入の倫理』

千葉県医師会医学会 第20回学術大会 ランチョンセミナー 2019年11月3日

『医療倫理 最近の話題と日常使える臨床倫理のテクニック』

帝京大学ちば総合医療センター 2020年2月3日

『日常使える臨床倫理の基礎知識』

---

## 4. 海外出張

---

### 瀧本 禎之

2019年5月21～27日 Vienna, Austria.

15th International Conference on Clinical Ethics Consultation に参加

2019年10月23～28日 Pittsburgh, USA.

The American Society for Bioethics and Humanities 2019 Annual Conference に参加

### 山本 圭一郎

2019年9月8～16日 UK.

バビロンヘルス、英国医師会、オルダーヘイ子ども病院へのインタビュー調査

2019年10月16～20日 Chicago, USA.

International Neuroethics Society Annual Meeting にて学会発表

### 林 令奈

2019年10月24～27日 Pittsburgh, USA

The American Society for Bioethics and Humanities 2019 Annual Conference に参加

---

## 5. 学会における活動

---

### 瀧本 禎之

日本生命倫理学会 理事  
日本サイコオンコロジー学会 理事  
日本医療安全学会 理事  
日本心療内科学会 評議員  
日本交流分析学会 評議員  
日本医学哲学・倫理学会 評議員  
日本摂食障害学会 評議員  
日本心身医学会 代議員

### 中澤 栄輔

日本生命倫理学会 評議員, 理事, 情報委員長

### 山本 圭一郎

日本生命倫理学会 評議員, 理事, 編集委員, 国際交流委員長

### 宇田川 誠

日本生命倫理学会 国際交流委員

### 佐藤 弘之

日本手術看護学会 看護研究倫理審査委員

### 筒井 晴香

応用哲学会 理事

---

## 6. 社会的活動

---

### 中澤 栄輔

放射線医学総合研究所 研究倫理審査委員会委員  
国立精神・神経医療研究センター 臨床試験審査委員会外部委員  
千葉大学医学部 生命倫理審査委員会委員  
国立国際医療研究センター 倫理委員会委員  
信州大学医学部 医倫理委員会委員  
慶應義塾研究倫理委員会・研究倫理審査委員会委員  
虎の門病院 利益相反委員会・臨床研究倫理審査委員会委員  
玉川大学動物実験審査委員会委員

### 山本 圭一郎

厚生労働省 倫理的法的社会的課題研究事業 中間・事後評価委員  
東京理科大学 ヒトゲノム・遺伝子解析研究に係る倫理審査委員会委員

### 林 令奈

神奈川 ME-BYO リビングラボ推進事業 倫理・コンプライアンス専門委員

### 島内 明文

産業技術総合研究所 生命倫理委員会委員



令和元年度 東京大学大学院医学系研究科  
医療倫理学分野・健康増進科学分野 教室員

---

教授	赤林 朗	客員研究員	加藤 寿 Slingsby BT
准教授	瀧本 禎之		箕岡 真子 村岡 香織
講師	中澤 栄輔	技術専門職員	森 克美
非常勤講師	伊吹 友秀 高島 響子 高橋しづこ 立花 幸司 堂囿 俊彦 長井 裕之 奈良 雅俊 林 芳紀 藤田みさお 前田 正一	学術支援職員	奈良本明日香 横山眞佐子
		事務補佐員	菅 富美子
		大学院生（博士課程）	及川 正範 新井 奈々 今長谷尚史 濱田なみ子 三羽恵梨子
助教	山本圭一郎	大学院生（SPH）	吉永 雄弘
特任助教	林 令奈 (大関 令奈)	卒論生	奈須野文槻
特任研究員	宇田川 誠 佐藤 弘之 島内 明文 玉手慎太郎 筒井 晴香	研究生	李 婭婭

---